

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査書

海外富裕層誘客推進事業(The Real Japan Ishikawa Project)

(1) 取組名	海外富裕層誘客推進事業(The Real Japan Ishikawa Project)		
(2) 実施団体名	The Real Japanいしかわプロジェクト推進協議会	(3) 対象地域	石川県金沢市（ツアー連携地域として他に加賀市・七尾市）
(4) 代表団体名	マゼランリゾート・アット・トラスト株式会社(以下「マゼランR&T」と記載)	(5) 推薦団体名	

(6) 実施した取組の内容	<b>取組①</b>	The Real Japanいしかわ地域資源ブックレット・ホームページ試作・評価事業		
	<b>実施主体</b>	五絆ソサエティ(米国法人)他		
	<b>実施内容、実施結果</b>	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: ①米国プロのライターによる本地域の地域資源発掘、②米国プロのライターによる本地域の発信媒体の作成</li> <li>・実施時期: 平成20年10月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 金沢市を中心とする石川県</li> <li>・取組の目的: 欧米等の海外富裕層に対して直接アピールする情報発信ツール(ブックレット・ホームページ)を作成し、評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: ①米国プロのライターによる本地域の地域資源発掘、②米国プロのライターによる本地域の発信媒体の作成</li> <li>・実施時期: 平成20年9月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 石川県内各地</li> <li>・取組の結果: NY在住のフードジャーナリスト2名、カメラマン1名を招聘し、食材や伝統工芸、料理、宿など30を超す素材を取材。五絆ソサエティ及び協議会メンバーのネットワークで国内外の食や旅行関係者からの意見聴取。それらを踏まえて制作したブックレット・ホームページは、海外の高級ホテルリゾート創業者から「外国人の視点で書かれており、素晴らしい。自社のブックレットとも遜色ない。」等の高い評価を得ているが、海外富裕層向け情報発信ツールとしての有効性を確認するため、アンケート調査を実施する。</li> </ul>	
	<b>取組②</b>	海外富裕層受入ガイドライン・人材教育研修カリキュラム開発調査事業		
	<b>実施主体</b>	アスリック他		
	<b>実施内容、実施結果</b>	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 次年度のガイドライン・カリキュラムの開発に向けた海外富裕層ツアー受入現場での経験・実績・評価等の情報収集と体系的な整理・分析</li> <li>・実施時期: 平成20年9月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 石川県(情報収集は石川県及び首都圏等)</li> <li>・取組の目的: 富裕層受入に必要な基礎情報の収集・整理・分析を実施し、次年度以降のガイドライン・カリキュラムの開発と本事業に賛同する料亭・旅館数を倍増し普及活動・試行に繋げるとともに、海外富裕層ツアー本格受入体制づくりを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 次年度のガイドライン・カリキュラムの開発に向けた海外富裕層ツアー受入現場での経験・実績・評価等の情報収集と体系的な整理・分析</li> <li>・実施時期: 平成20年10月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 石川県(情報収集は石川県(7社)、東京都(6社)、京都府(4社))</li> <li>・取組の結果: ペニンシュラ東京、京都吉兆等を含むホテル・旅館、料亭、ハイヤー、旅行代理店及び人材研修の事業者にヒアリング調査を実施。海外富裕層への接遇ノウハウを始め、これまで明示されることがなかったガイドライン・カリキュラム開発に必要な富裕層受入ノウハウを収集し、体系的に整理・分析する。</li> </ul>	
	<b>取組③</b>	海外富裕層受入賛同者の拡大のための市場研究会運営・国際会議開催事業		
	<b>実施主体</b>	マゼランR&T他		
	<b>実施内容、実施結果</b>	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: ①市場研究会開催、②国際会議開催</li> <li>・実施時期: ①市場研究会 平成20年9月～平成21年3月、②国際会議 平成21年2月</li> <li>・実施場所: 石川県金沢市</li> <li>・取組の目的: 海外富裕層ツアー市場に対する地元関係者の意識喚起、賛同者の拡大を図ることに加え、国際会議では、海外富裕層への情報発信し、誘客に繋げるにより、地域への経済効果の波及を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: ①市場研究会開催、②国際会議開催</li> <li>・実施時期: ①市場研究会 平成20年9月～平成21年3月、②国際会議 平成21年2月14日</li> <li>・実施場所: 石川県金沢市</li> <li>・取組の結果: ①市場研究会は、ザ・リッツカールトン日本支社長の高野登氏を招き講演いただくなど3回開催。さらに3月に1回開催する予定。協議会構成団体以外にもホテルや健康増進施設、商工会等8企業・団体の参加も得た。参加者から「景気後退の時期にこそ本物が輝く。今がチャンス。」「リッツカールトンを参考に取組みたい。」など意欲的な感想が集まった。</li> <li>②国際会議は、第1回「International Luxury Lifestyle Forum(ラグジュアリーライフスタイル国際会議)」として、世界的に有名な高級リゾートホテルチェーン会長のソマ・シヴダサニ氏、NYの著名レストラン総料理長マイケル・ロマーノ氏、本保観光庁長官らを招き、石川県立美術館で約250名の参加者を集め開催。国内初の富裕層誘致に準拠を合わせた本格的な国際会議であり、海外高級リゾートホテルチェーン(アマンリゾート)の参加や、国内外のプレスで報道されるなど高い関心を集めることが期待される。(見込)</li> </ul>	

	平成20年度の取組実施における体制・役割分担	取組の実施を踏まえた反省点
(7)実施体制	<p>・The Real Japanいしかわプロジェクト推進協議会 下記11団体で構成され、それぞれの役割を分担</p> <p>・マゼランR&amp;T(主担当:取組③、担当:取組①、②) 協議会代表団体。地方の元気再生事務局として、各取組の管理や全体総括等を担当。</p> <p>・五紘ソサエティ(主担当:取組①) ブックレットの取材・試作を担当。</p> <p>・アスリック(主担当:取組②、担当:取組③) ガイドライン・カリキュラム開発調査の実施・とりまとめを担当。市場研究会・国際会議の企画運営に参画。</p> <p>・かよう亭・多田屋・銭屋・浅田屋・金城楼・大和タクシー(担当:取組①、②、③) ブックレット取材及びガイドライン・カリキュラム開発調査への対応(情報提供等)。市場研究会・国際会議の企画運営に参画。</p> <p>・石川県・金沢市(担当:取組①、②、③) 関係者間調整、広報等を担当。</p>	<p>・取組①:ブックレットの取材・試作は五紘ソサエティとマゼランR&amp;Tを中心に各協議会構成団体が連携し、海外富裕層受入に賛同する事業者を開拓することで、県内各地から30社を超す飲食店、宿泊施設、伝統工芸事業者等の協力を得て実施できた。</p> <p>・取組②:ガイドライン・カリキュラム開発調査における最大の懸案であった首都圏等の先進企業のノウハウ情報収集は、協議会構成団体のネットワークを活用し、計画どおり実施できた。</p> <p>・取組③:国際会議開催については、当初計画になかった地元放送局(株)北陸放送(MRO)社長の白石恵一氏、元映画宣伝プロデューサーの藤井雅俊氏(株)メディアラグ代表取締役)ら専門家の協力が得られたことにより、国内外に向けた広報や富裕層誘致に相応しい演出など取組内容の充実が実現された。</p>
(8)取組により得られた成果	<p>○成果1→ 本格的な海外富裕層受入体制の整備に向け、本事業に賛同する料亭・旅館数の倍増</p>	
	<p>H19</p> <p>協議会参加料亭・旅館数5社</p>	<p>H20(当初予定していた目標)</p> <p>協議会参加料亭・旅館数10社へ倍増</p>
	<p>H20(実際に得られた成果)</p> <p>・国際会議開催において、ホテル日航金沢、ホテルニューグランド、ANAクラウンプラザホテル金沢等の協議会構成団体以外の地域の宿泊施設が協力。ブックレット取材には同様に13社の飲食店・宿泊施設が協力。既にホテル日航金沢、ANAクラウンホテル金沢、加賀屋、ペにや無何有、元湯石屋等7件の参加意向が寄せられている。</p> <p>・このように、既に目標の10社を超える飲食店・宿泊施設の賛同を得て、本年度の事業を実施しているところであり、実質的には目標を達成することができた。(新年度の協議会会員募集は、本年3月を予定)</p>	
	<p>○成果2→ ラグジュアリマーケット国際会議開催による地域への経済効果の波及</p>	
	<p>H19</p> <p>該当無し</p>	<p>H20(当初予定していた目標)</p> <p>約5億円(参加者1,000人による直接経済効果約1億円+海外プレス・エージェントによる宣伝効果など波及効果約4億円)</p>
	<p>H20(実際に得られた成果)</p> <p>・直接経済効果:約1億円(国際会議参加者の消費効果:250名×県外客(海外含)8割×10万円=2,000万円、メディア露出効果:全国紙・海外配信1,000万円×4紙=4,000万円、地元紙50万円×10回=500万円、地元TV報道100万円×10回=1,000万円、雑誌500万円×5誌=2,500万円)を目指す。</p> <p>・波及効果:当初より目標にしている、本国際会議開催以降の1年間で約4億円(40万円×1,000人の富裕層受入)を目指す。</p>	

<p>(9) 今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<p>●反省点・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックレットについては、評価を依頼した海外の高級リゾートホテル創業者から「当社を始め世界のリゾートの多くは、四季がない地域でリゾートを展開しており、四季の素晴らしさを人一倍感じている。日本の四季の素晴らしさを強調すべきである。」との意見があった。引き続き、今年度できなかった春・夏の地域資源を中心とした取材・評価を行い、本格的に石川の四季を織り込む形で内容を充実させ、海外で配布していくことが必要である。</li> <li>・本格的な海外富裕層ツアーの受入にあたって、海外富裕層や富裕層向け旅行会社・コンシェルジュ組織等からの多様な要望に応え、ツアーのコーディネートやガイドを務めることのできる人材の養成・確保が重要な課題である。今年度の調査結果を基に、ガイドラインや人材育成カリキュラムの開発を進め、早急に人材育成に取り組む必要がある。</li> <li>・本年度の目標に掲げた約5億円の経済効果を継続的に伸ばしていくには、海外富裕層旅行市場に対し、海外で、直接的に、マーケティングやプロモーションを展開することが重要である。国内の他地域に先駆け取り組んできたILTM出展等に加え、海外の富裕層旅行会社・コンシェルジュ組織に対するマーケティングやプロモーションを展開していくことが必要である。</li> <li>・国際会議については、十分な周知期間がなかったため当初想定したアマンリゾート創業者のエイドリアン・ゼッカ氏、シェフ界の巨匠ジョエル・ロブション氏らを招聘できなかったが、来年度は早期に日程調整を行うことで、これらのオピニオンリーダー招聘を実現し、さらに会議前の数日間で県内の関係施設等を見てもらい、観光地としての受入体制や観光に関連する様々な国の規制・制度について率直な意見を話し合う場としていきたい。</li> </ul>	
<p>(10) 平成21年度以降の活動の見込み</p>	<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <p>1. 海外富裕層ツアー本格受入体制づくりに向けた具体的活動(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックレット・ホームページ等告知媒体の本格整備と海外高級リゾート・ホテルチェーンへの配備交渉</li> <li>・ガイドライン・人材育成研修カリキュラムの開発と普及活動・試行</li> <li>・市場研究会の持続的運営と賛同者の拡大</li> <li>・ラグジュアリマーケット国際会議の第2回開催と定期開催化に向けた民間出資者の発掘</li> </ul> <p>2. 本格的体制づくりに向けた関係機関調整(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅館・料亭、文化関連施設、JA・JF等、医療機関、関連諸機関との調整</li> </ul>	<p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>1. 海外富裕層ツアー本格受入体制づくりに向けた具体的活動(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体: マゼランR&amp;T他</li> <li>・活動内容: <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ブックレット等告知媒体の本格整備等については、当初より計画している春夏の地域資源を中心とした追加取材・評価を行い、本格的に海外で配布していくことに加え、継続的に経済効果創出に向け、海外の富裕層向け旅行会社・コンシェルジュ組織に対するマーケティングやプロモーションを強化することとする。</li> <li>(2) H22年度からの本格的な事業展開を見据え、海外富裕層の受入にも対応が可能な、いわば「スーパーコンシェルジュ」人材の育成に取り組む。</li> </ul> </li> <li>具体的には、今年度の基礎調査の結果を踏まえ、富裕層に地域の魅力を伝える知識、グローバルレベルのおもてなし等の海外富裕層受入に必要な能力開発のためのガイドライン・カリキュラムの開発や、国内初の海外の有名リゾートホテルチェーン等から直接ノウハウを学ぶ海外富裕層受入専門の人材養成研修などに取り組む。</li> <li>(3) ラグジュアリーライフスタイル国際会議及び市場研究会については、県内外から賛同者を拡大するとともに、本地域の魅力を海外富裕層旅行市場に向け発信し、地域経済効果向上を図るため、継続して取り組む。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度: 地方の元気再生事業による継続支援を希望(想定金額3,000万円)]</p> <p>2. 本格的体制づくりに向けた関係機関調整(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体: マゼランR&amp;T他</li> <li>・旅館・料亭、文化関連施設、JA・JF等、医療機関、関連諸機関との調整</li> </ul> <p>[活用を希望する制度: 無し(協議会の自主財源によって実施予定)]</p>

# 海外富裕層誘客推進事業(The Real Japan Ishikawa Project) (石川県金沢地域)

— The Real Japanいしかわプロジェクト推進協議会 —

## ◆主な実施取組の内容◆

取組①: The Real Japanいしかわ地域資源ブックレット・ホームページ試作・評価事業

実施主体: 五紘ソサエティ(米国法人)他

実施内容・結果:

- ・ NY在住のフードジャーナリスト、カメラマンを招聘。食材や伝統工芸、料理、宿などの地域資源・食文化を取材・編集したブックレット・ホームページを試作。
- ・ ブックレットは国際会議(取組③参照)の海外ゲストを始め海外の旅行会社等による評価(ヒアリング、アンケート)を実施する。
- ・ 海外の高級ホテルリゾート創業者から「外国人の視点で書かれており、素晴らしい。自社のブックレットとも遜色ない。」等の高い評価を得ているが、海外富裕層向け情報発信ツールとしての有効性も確認するために、アンケート調査を実施する。



取組②: 海外富裕層受入ガイドライン・人材教育研修カリキュラム開発調査事業

実施主体: アスリック他

実施内容・結果:

- ・ ペニンシュラ東京、京都吉兆等を含むホテル・旅館、料亭、ハイヤー、旅行代理店及び人材研修の事業者ヒアリング調査を実施。
- ・ 海外富裕層への接遇ノウハウを始めこれまで明示されることがなかったガイドライン・カリキュラム開発に必要な富裕層受入ノウハウを収集し、体系的に整理・分析する。

取組③: 海外富裕層受入賛同者の拡大のための市場研究会運営・国際会議開催事業

実施主体: マゼランR&T他

実施内容・結果:

(1) 市場研究会

- ・ ザ・リッツカールトン日本支社長の高野登氏を招き、講演いただくなど4回開催予定。
- ・ 協議会以外のホテル等の企業・団体も参加し、本事業の賛同者拡大に繋がった。

(2) 国際会議(開催日: 平成21年2月14日)

- ・ 第1回「International Luxury Lifestyle Forum(ラグジュアリーライフスタイル国際会議、以下「ILLF」という。)」として、世界的に有名な高級リゾートホテルチェーン会長のソヌ・シヴダサニ氏、NYの著名レストラン総料理長マイケル・ロマーノ氏らを招き、石川県立美術館で約250名の参加者を集め開催予定。
- ・ 国内初の富裕層誘致に照準を合わせた本格的な国際会議として、国内外のプレスで報道されるとともに、海外からも高級リゾートホテルチェーン関係者が聴衆として参加するなど高い関心を集めることが期待される。



ソヌ・シヴダサニ氏



案内チラシ



マイケル・ロマーノ氏

## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

### ●成果

- ・ 海外富裕層の受入体制強化に繋がる賛同者拡大
- ・ 国際会議の開催による地域への直接的経済効果(推定1億円)及び海外への宣伝効果の波及(今後1年間で4億円の見込み)



### ●今後の展開

- ・ ブックレットの拡充等と市場に対するマーケティング・プロモーション活動の本格展開
- ・ 「スーパーコンシェルジュ」人材の育成
- ・ 市場研究会の継続開催
- ・ 日本の観光関連の規制改革を主テーマとする国際会議(第2回ILLF)の開催